

『軽井沢 ホテル プレストンコート』編

# リゾートウエディング施設のメインシステムとして「BV Manager」が活躍

日本のリゾートウエディング発祥の地・軽井沢において、伝統を大切に継承しながら常に新しいスタイルを提案し、高い人気を誇るのが軽井沢ホテルプレストンコート。シティホテル等のウエディングに比べ、より婚礼・宴会と宿泊が密接に連動している同施設のメインシステムとして選ばれたのが(株)ユニコーンの婚礼・宴会総合支援システム「BV Manager」だ。

(取材協力) 株式会社星野リゾート <http://hoshinoresort.com/>

## ウエディングを中心にオペレーションを重視したシステム導入

軽井沢ホテルプレストンコートでは、これまで自社開発したシステムをメインに使用していたが、10年以上前に開発したシステムのため、OS・アプリケーションの保守切れ、ハードの老朽化に伴うリプレース時期に来ていたという。今回の新たなシステム導入について同施設を運営する星野リゾートのグループ情報システム ユニットディレクターの久本英司氏は次のように語る。「ホテルプレストンコートは、軽井沢という土地柄もあり、リゾートウエディングを中心としたブライダル事業の規模も大きい。そのため、ホテルの宿泊システム(ホテルシステム)とは独立した婚礼・宴会システムの導入ではなく、ホテルの宿泊機能を含めた上での婚礼・宴会管理システムが必要でした」

確かにシティホテルなどで行なわれる婚礼と違い、出席者の多くが宿泊を含め施設を利用して帰るのがリゾートウエディングであり、それを管理するシステムに求められる役割も変わってくる。「同施設にとっては、

コアとなる基幹システムの入替えて、導入する端末数も150台に上るといって一大プロジェクトとなるため、専任のプロジェクトマネージャーを置いて、システム構築を担当するチームやオペレーションを構成するチームなどをコントロールする形をとりました。結果から言うと、これが成功して1年という短い導入期間にもかかわらず、無事稼動にこぎつきました」と久本氏は断言する。

星野リゾートは軽井沢をはじめ、国内で多くのリゾート施設を運営しており、宿泊部門に関しては、すでに標準となるホテルシステムが存在し、各施設は同じホテルシステムを導入して運営効率を高めていた。ただプレストンコートでは婚礼システムの操作が中心となるため、婚礼システムがホテルシステムとシームレスに連携し、コントロールできるようなシステム作りをイメージし、ベンダーの選定に入ったそうだ。「当初はデータ連携の面から考えて、ホテルシステムと同じベンダーのアプリケーションを導入しようと考えていましたが、バンケット管理機能のきめ細かさという面から「BV Manager」を導入することにし



株式会社星野リゾート  
グループ情報システム ユニットディレクター  
久本英司氏  
今回の導入成功には現地スタッフの尽力が最も大きかったと語る

ました。今回のシステム入れ替えはパッケージの機能をそのまま利用することが大前提だったので、われわれがこれまで蓄積したノウハウの中で、システム化が必須と考えているケースでは、機能がないことでオペレーション設計が崩れてしまいます。その点、BV Managerは細かいニーズに対応する機能が作りこんであり、婚礼オペレーションの多くの部分をパッケージの機能で対応できたというのが大きなポイントでした」と久本氏は「BV Manager」の導入理由について語る。

また、婚礼システムを中心としたシステム構成については「婚礼システム

に宿泊機能を追加するという形ではなく、グループ共通で導入しているホテルシステムとのタイムラグがない連動を実現するという形で設計しました。宿泊システムの変更情報がすぐに「BV Manager」に反映するので、常にホテルの空室状況などを「BV Manager」の画面上で確認しながら安心してブライダルの打ち合わせをすることができます。「BV Manager」の宿泊管理タブ上のボタンを押すだけですばやくホテルシステムの画面に切り替わるようにしました」と久本氏。

## 綿密なプロジェクト設計と柔軟な転換が成功のカギ

今回の基幹システム入れ替えに伴う「BV Manager」の導入について久本氏は次のように振り返る。「これまでのシステム構築のノウハウを生かし、設計の段階からかなり綿密に計画していきました。新システムの教育スキームを作ったり、マスター設計にも選任の担当者をつけ、かなり綿密に行ないました。星野リゾートグループの顧客データベースなど、ほかのシステムとの連動、カスタマイズも現場からの要望をできる限り取り入れ、かなり多岐にわたり行ないました。インフラ整備に関しても大幅な見直しを行ないました」

「BV Manager」をはじめユニコーンの提供するパッケージは基本的にクライアント/サーバーシステムのため、端末側にソフト、サーバーにデータベースを持つため、同一LAN内にサーバーがあることが前提となる。「以前のシステムは軽井沢にサーバーを置いて構築していましたが、軽井沢という土地は落雷も多く、湿気も多いためメインシステムのサーバーを置く



(お問い合わせ先) 株式会社ユニコーン  
東京事業本部 ☎03-6808-1237 大阪本社 ☎06-6943-4560 <http://www.atlantis21.co.jp/>

には不向きでした。かといって外部にサーバーを立ててもクライアントから遠いと処理速度の面で不具合も生じるため、仮想化の仕組みを利用することになりました。結果、同じデータセンターに仮想サーバーと仮想デスクトップサーバーを設置し、軽井沢および東京や各地のサロンにある150台の端末からは仮想デスクトップにリモートアクセスすることにしました。システムの安全性と安定性、そしてアクセススピードを確保するというインフラ整備を導入しました」と久本氏。この仕組みだと、端末にアプリケーションがインストールされていないので、万が一端末が壊れても一台ずつソフトを直す必要はなく、別の端末からアクセスすればすぐに業務再開が可能というメリットがある。また、アプリケーション環境の整備は、マスター環境を150台



軽井沢 ホテル プレストンコート <http://www.blestoncourt.com/>  
星野リゾートのブライダル部門の原点といえる美食と自然あふれる施設

分コピーすればOKという保守面でもかなりのメリットがあるという。

今回の新システムは2012年の1月から稼動してわずか半年余りしか経過していないが、現在は導入チームとは別に編成された運営チームの手により、さらなる効率化を考える第2フェーズに入っているという。今回の導入事例を踏まえて久本氏は「今後星野リゾート内にあるウエディングの占める割合の大きな施設に対し、今回のノウハウをシステムと一緒に導入していきたいと考えています」とブライダル事業の効率化をさらに進めていきたいと締めくくってくれた。